

くらしのニュース 10月号

発行/苫小牧市市民生活部市民生活課 TEL0144-32-6306(直通)
市民生活課消費生活情報ホームページ <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/shohiseikatsu/seikatsubusshi/>

令和2年9月23日発行

《10月は食品ロス削減月間》

「食品ロスの削減の推進に関する法律」が昨年10月1日から施行されています。それに伴い消費者庁、農林水産省、環境省と共に、食品ロスの削減に向けた取組を進めています。日々の生活の中で、私たちも食品ロスの削減に参加することができます。



みんなで考えよう!食品ロス

- 1 買い物の前に、冷蔵庫をチェックしている
- 2 備蓄素材の把握をし、定期的な入れ替えをしてる
- 3 食材を買う前に、どんな料理になるか考えている
- 4 すぐ食べるものは、棚の手前から買っている
- 5 食材を使い切る工夫をしている
- 6 作りすぎない!残さずに食べきっている
- 7 残り物も残った食材も別の料理に変身させている

8 働きがいの
経済成長も



日々の生活から実践できます。

11 住み続けられる
まちづくりを



食べ物をつくる生産者・製造者などへの感謝の気持ちや、食材を無駄にしないという意識はあっても行動に移せていない方もいらっしゃるかもしれません。

私たち一人ひとりが取り組む小さな行動も、食品ロスを減らす大きな力になります。

「目玉商品」だから「数量限定」だからと、そのうちに食べようとして無計画に買ってしまふことがあったり、半分や4分の1の食材で間に合うのに、1個買うと割安なので多く買ってしまい無駄にしてしまいがちですが、全ての食材を使い切ることで、食品ロスを減らすと同時に節約も出来ます。

野菜の多くは皮のすぐ下が中心部よりやや栄養があり、美味しいと言われています。皮を薄くむく、あるいは皮まで食べ切ることで、健康増進にも繋がります。



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう

